

年頭にあたり

松前町長

前田 一男



新年明けましておめでとございます。

今年は、七月に北海道洞爺湖サミット、八月に中国北京オリンピックと、何かと賑やかな年になりそうです。

当町においても、今年から新たな十カ年総合計画が始まり、将来を見据えた町づくりに向け、町民総ぐるみで取り組んでいくことが大切になってきます。

地方格差が叫ばれる昨今ですが、都会生活も必ずしも良いことばかりではありません。自然に囲まれ、地域社会のつながりが深く、心おだやかに毎日を送れる幸福感は「故郷ならではの」だと私は思います。

今年、私が楽しみにしているのは、十月に松前藩屋敷周辺にできる書の回廊です。松前が生んだ書家・金子鷗亭先生と門人の方々の石彫りの書が日本一の規模で立ち並び、これは「書のまち・松前」の象徴となることでしょう。私もまた、この地域の歴史を連綿と紡いで来られた先人への感謝と、未来に生きる子どもたちへの責任を抱きながら、全力を尽くしてまいる所存です。今年一年、松前町が安寧であり、町民皆さまにとって、本年が良い年であることを心から祈念し、年頭の挨拶といたします。